



# 地域医療連携室

## MSW : Medical Social Worker

### 医療ソーシャルワーカー

医療ソーシャルワーカーとは、保険・医療の分野で働く国家資格（社会福祉士・精神保健福祉士）を持った専門職です。専門的知識及び技術をもって日常生活の相談に応じます。国立病院機構では医療社会事業専門員といえます。

### ○新採用職員紹介

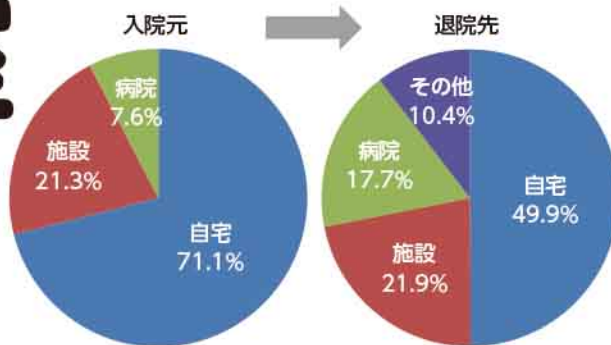
#### MSW 吉川礼子(きつかわ・れいこ)

5月から採用となりました。邑智郡で育ち、石見出身者です。連携業務は初めてですが、医療センターと地域の橋渡しとして浜田圏域における地域連携に貢献できるよう精一杯努めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



### 令和5年度 退院支援患者の退院先

令和5年度地域医療連携室が関わった(院外機関との連携・調整等)患者数は1959名でした。また、外来での相談は156件承りました。



治療をしながら仕事を続けたいあなたをサポートします!

## 治療と仕事の両立支援

このようなお悩みを社会保険労務士に相談してみませんか? お気軽にお問い合わせください。

- 病気や不妊治療のために仕事を続けようか迷っている
- 治療費のことが心配  
… 傷病手当金や障害年金、高額療養費など医療費制度について知りたい
- 病気のことを会社にうまく伝えられない
- 職場で配慮してほしい など

開設日 2024年度(4回の開催予定)  
 6月17日(火) / 9月17日(火)  
 12月17日(火) / 3月18日(火)



時間 13~15時 対象 患者(労働者)、家族、職場の方

場所 浜田医療センター 地域医療連携室  
(当日の相談は当院からオンラインで実施します)

【担当】 浜田医療センター 地域医療連携室  
tel.0855-25-0505 (代表) (平日9時~16時)

## 島根県訪問看護ステーション協会

### 浜田支部会へ出席しました

地域医療連携室係長(看護師長) 佐々木 亜弥

6月11日に当院で訪問看護ステーションとの連絡会が行われました。浜田圏域8か所の訪問看護ステーション管理者と浜田保健所、済生会江津総合病院、当院の関係者と併せて約30名の出席がありました。

当院の診療看護師より「緩和ケア病棟に入院された160人の患者のカルテより半数の80人の方が『自宅に帰りたい』という気持ちの表出をされている記録があったが、実際に自宅退院が出来た方は2名であった。自宅退院を希望される方の気持ちを大事にし、地域との連携を強めるために、私たちが出来る事はないか」と発言があり、意見交換を行いました。訪問看護師からは「ご本人の帰りたい気持ちが病棟にどのように伝わっているか確認し、その思いを大切にしたい」「退院のタイミングを逃がさないように調整を進めてもらってよい。急な退院希望時の準備不足があったとしても頑張っって受け入れる」という心強いご意見をいただきました。保健所からは「情報の共通ツールの検討が必要ではないか」等のご意見がありました。また、当院の入退院支援看護師からは「入院前から患者・ご家族と面談し、得た情報を病棟や連携室相談員と共有することで入院当初から退院を見据えたスムーズな介入につなげることができる」や、相談員からは「本人の支援もだが、ご家族の覚悟や安心を支援することも大事」など、それぞれの立場から発言があり、約1時間でしたが、活発な意見交換ができました。

今後も退院支援を行ううえでの課題を検討、解決していくためにもこのような情報交換や事例検討をすすめていきたいと思えます。そのうえで、患者・ご家族の気持ちに寄り添って退院支援・患者支援にできる連携を目指していきたいと思えます。ありがとうございました。

